映画

令和4年度 徳島県地域医療介護総合確保基金事業

第2回 キャリアアップ研修

INOCHI NO TEISHABA

いのちの停車場 上映会



©2021「いのちの停車場」製作委員会

南 杏子 氏 / 原作

Profile プロフィール



1961年徳島県生まれ。日本女子大学卒。出版社勤務を経て、東海大学医学部に学士編入し、卒業後、都内の大学病院老年内科などで勤務する。2016年『サイレント・ブレス』でデビュー。他の著書に『ディア・ペイシェント 絆のカルテ』『希望のステージ』『ブラックウェルに憧れて』『ヴァイタル・サイン』『いのちの停車場』『アルツ村』がある。

2022

10/14 (金)

参加費 **無料**

13:30～15:30 (受付 12:45～)

会　場／健祥会パートナー

■会場参加定員／500名

会場はコロナ対策を実施しております

＊ご来場の際はマスクの着用をお願いします。
＊当日体調がすぐれない方は、来場をご遠慮ください。



●駐車場に限りがあります。
出来るだけ乗り合わせてお越しください。

お申込みについて

本学園ホームページ内の申込フォームからお申込みください。

●申込締切：9/30(金)　※定員に達し次第、締め切ります(先着順)

●ご入場の際には、申込後に本学園からお送りする「入場用QRコード」が一人ずつに必要です。

お申込みはコチラ▶

お問い合わせ

TEL.088-642-9667(介護福祉学科　担当／河野・阪本)

779-3105 徳島市国府町東高輪字天満369番地1 URL：https://www.kenshokai.ac.jp/

健祥会学園 KENSHOKAI GAKUEN

現役医師による傑作医療小説、豪華キャストで映画化！
まほろば診療所―そこは、命を少しだけ輝かせる場所…。

Introduction

誰もが予想だにしなかった未知のウイルスに、世界が翻弄されている昨今。
「生と死」について考える機会が増えたのではないでしょうか。
金沢の小さな診療所を舞台に、“いのち”に優しく寄り添う医師と、避けることのできない
死を迎える患者とその家族が、それぞれの立場から病と向き合い、葛藤し、成長してゆく。
原作は現役医師・南杏子の同名小説で、医師だからこそ描写できる医療現場の臨場感、安楽死
といったテーマに深く切り込み、2020年5月発売と同時に大きな反響を呼びました。
主人公咲和子を演じるのは、国民的女優・吉永小百合。映画出演122本目にして、
初の医師役に挑戦します。「まほろば診療所」のスタッフには、吉永小百合との初共演を果たす
松坂桃李と広瀬すず、そして、西田敏行が熱演。かけがえのない人がいる、全ての方へ――
“いのち”に正面から向き合い、生きる力を照らし出す、心を揺さぶる感動の物語が
2021年誕生します。

Story

東京の救命救急センターで働いていた咲和子は、
ある事件をきっかけに、
故郷の金沢で「まほろば診療所」の在宅医師として再出発をする。
様々な事情から在宅医療を選んだ患者と出会い、戸惑いながらも、
まほろばのメンバーと共にいのちの一瞬の輝きに寄り添っていく。
その時、最愛の父が倒れてしまい…。

